

社団法人日本病理学会 平成 22 年度事業報告

(平成 22 年4月1日～平成 23 年3月 31 日)

事業の概要

I. 学術集会、研究会等の開催

1. 学術集会の開催

- (1) 第 99 回日本病理学会総会(於東京・樋野興夫会長)を開催
- (2) 第 56 回日本病理学会秋期特別総会(於北九州・橋本 洋会長)を開催

2. 研究会、講習会等の開催

- (1) 第7回日本病理学会カンファレンス(2010 岡山8月6日・7日)を実施
- (2) 細胞診講習会(於神戸市 3月 12 日・13 日)を実施
- (3) 病理診断講習会(於東京都 4月 27 日～29 日)を実施
- (4) 第4回診断病理サマーフェスト(於京都市 8月 28 日・29 日)を実施
- (5) 各支部における学術・研究集会

3. 公開講座・シンポジウムの開催

II. 学会誌、学術図書等の発行

1. 「日本病理学会会誌」(第 99 巻第1～2号)を発行
2. 「Pathology International」(Vol.60 4～12、Vol.61 1～3)を発行
3. 「診断病理」(第 27 巻第2～4号、第 28 巻第1号)を発行
4. 「日本病理学会会報」(第 267～278 号)を発行
5. 「お知らせ」(第1号～3号)を発行
6. 「病理専門医部会報」(2010 年 第2～4号、2011 年 第1号)を発行

III. 研究および調査

1. 「日本病理剖検輯報」第 51 輯(平成 20 年症例)を発行
2. 剖検輯報編集方法の変更・充実
3. 剖検記録データベースの再構築

IV.病理専門医等の資格認定

1. 病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験(於京都市)の実施及び資格の更新
2. 病理専門医の広告
3. 「病理専門医研修手帳」の実施
4. 病理専門医研修施設の認定および資格の更新

V.学術団体との協力、連絡

1. 学術団体等との会議共催および後援(国内)を実施
2. 腫瘍取扱い規約等の改訂
3. 海外病理学会との交流
 - (1)英国病理学会との会員の相互派遣、学術交流を実施
 - (2)アジア各国との学術交流を実施

VI.その他目的を達成するために必要な事業

1. 日本病理学賞(宿題報告)を3名に授与
2. 日本病理学会学術奨励賞を7名に授与
3. 日本病理学会学術研究賞(A 演説)を7名に授与
4. 病理学卒前教育の充実
5. 病理診断コンサルテーションシステムの充実
6. インターネットホームページの充実
7. 病理専門医制度運営、医療業務、学術・研究等の各種委員会の開催
8. 日本病理学会 100 周年記念事業実施準備
9. 医師賠償責任保険加入取扱いの実施